

## 2024年7月1日 記者会見 説明内容

発表内容：国内男子プロバスケットボールリーグ「B. LEAGUE」のタイトルパートナー就任決定について

日時：2024年7月1日（月） 10:30～11:00

場所：帝国ホテル東京 本館2階 孔雀西の間

発表者：公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ チェアマン 島田 慎二  
株式会社りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長兼グループCEO 南昌宏

### 《司会》

B. LEAGUE チェアマン島田慎二よりタイトルパートナー決定について、またリーグとしての想いをお話しさせていただきます。島田チェアマン、どうぞご登壇ください。

### 《島田チェアマン》

皆さん、こんにちは。B. LEAGUE の島田です。これだけの多くのメディアの皆さまにお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日はB. LEAGUE として初めてタイトルパートナーが決定したことを報告させていただきます。まずは簡単にB. LEAGUE の軌跡を説明させていただきます。2016年の開幕から徐々に成長をしてきましたが、その後、新型コロナウイルスの流行により、二年半から三年程度厳しい時期がありました。そのような環境下でも、各クラブの努力や多くの皆さまの支えを受け、業績は回復をしてきました。リーグ構造改革（＝B.革新）に向けて、血の滲むようなクラブの経営努力、夢のアリーナの誕生、昨年のワールドカップでの日本代表の活躍により、2023-24シーズンは更なる飛躍を遂げることができました。

本日から新たなシーズンがスタートすることを受け、先日、5年間の中期経営計画として2028年までに入場者数を700万人、そして事業規模を800億円に伸ばすという目標を発表しました。また、未来へ歩む道筋として、2050年までに「感動立国」という社会を築いていくことを宣言しました。

本日、私どもに新しい心強い、パートナーが誕生するので、発表をさせていただきます。

B. LEAGUE のタイトルパートナーは「りそなホールディングス」さまです。

今回、りそなグループさまとタイトルパートナーというご縁をいただくことができました。りそなグループさまは「金融+で、未来をプラスに。」というパーパスを掲げており、地域に寄り添い、そして金融の枠にとらわれず、変革、創造、そして挑戦を続けている企業さまです。今回、このような企業さまと一緒できたことを嬉しく思っており、感謝を申し上げます。

B. LEAGUE はスポーツ界の枠にとどまらず、地域密着、地域愛着、そして地域創生を軸に、様々なことにチャレンジをするというリーグの思想を持っています。その中で、りそなグループさんとは同じ想いを持っており、ともに未来を創造できると考えています。

今回の決断において、ご尽力いただいたりそなホールディングスの南社長、関係者の皆さまに心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。そして、りそなグループさまとともに事業成長地域コミュニティの活性化を通して、新たな価値の提供を行っていきたいと思います。

メディアの皆様、今シーズンのシーズンタイトル名は「りそなグループ B. LEAGUE 2024-25」となりますので何卒よろしくお願いたします。

それでは、りそなグループさまのVTRをご覧ください。

### 《キービジュアル動画》



#### 《司会》

B. LEAGUE 2024-25 シーズンタイトルパートナーに就任いただきました株式会社りそなホールディングス取締役兼代表執行役社長兼グループ CEO 南昌宏さまにご登壇いただきます。  
南社長、壇上にお上がりください

#### 《フォトセッション》



#### 《司会》

フォトセッションを一旦終了させていただきます。改めて、株式会社りそなホールディングス南社長をお迎えし、私からタイトルパートナーの決定にあたり、りそなグループの考えやリーグへの期待など伺っていきたいと思います。  
はじめに南社長にお伺いさせていただきたいと思いますので、今回の B. LEAGUE タイトルパートナーに就任した経緯を教えてくださいませんか。

#### 《南社長》

皆さま、おはようございます。この度 B. LEAGUE さまのタイトルパートナーに就任をさせていただきました、りそなホールディングスの南です。躍進目覚ましい B. LEAGUE さまと共に新しい挑戦に踏み出せることを大変嬉しく思っています。

質問 (Q: 今回の B. LEAGUE のタイトルパートナーに就任した経緯や理由) の回答をさせていただきます。  
1 つ目は B. LEAGUE さまおよび島田チェアマンの志、戦略性の高さ、そして、その行動力について共鳴をしたことです。

2つ目はB. LEAGUE さまとりそなグループに共通点がないとお考えになるかもしれませんが、挑戦、変革、そして地域への貢献という点において、ともに真摯に取り組んでおり、根底にある想いは同じだということです。この根底にある想いを共有しながら、島田チェアマンとお話をさせていただき、必ずWin-Winの関係になれるということを確認しました。

そして、りそなグループにおいては、昨年、りそな改革のスタートから20年の節目を迎え、我々自身も大きなターニングポイントと捉えています。りそな再生から新しい挑戦に向けて、大きく舵を切るギアチェンジの年にB. LEAGUE さまとお会いできたことは良いご縁であったと感じ、改めて新しい挑戦を始めたいという強い思いを持ちました。

《司会》

ありがとうございます。島田チェアマン、B. LEAGUE の目指すものと、りそなグループが目指すもの合致したことを南社長から伺ったわけですが、南社長の思い、どのように受け止めていますか。

《島田チェアマン》

我々、B. LEAGUE は野心的に様々なことにチャレンジしている団体、スポーツ、業界であります。最初に今回の話を聞いた際にりそなグループさまとB. LEAGUE の根底にあるものは同じものであると感じていたのですが、南社長とお話する中で、りそなグループさまが地域社会を大切にしながら金融業界の常識にとらわれず、様々なことに挑戦をしていることは、我々の未来に向けた志と一緒に感じることができ、大変嬉しく思いました。また、無事に本日を迎えられることは本当に幸せです。

《司会》

共に歩んでいける力強いパートナーが誕生したのではないかなと思いますが、南社長はいかがでしょう。またりそなグループとしても、先ほど新たなステージやチャレンジの段階という話を聞かせていただきましたが、今回の「B. LEAGUE 2024-25 シーズン」のキービジュアルである「JOIN THE HOPE ワクワクできなきゃ未来じゃない」に込められた想いについても教えてください。

《南社長》

私自身、「JOIN THE HOPE」という言葉を大変気に入っています。この言葉には希望や夢を持って、多くの方々が進んでくれること、そして、皆さまが繋がることで、熱量をさらに増幅させることが可能だと思っています。そして、新しい価値を提供していこうという強い思いを、この「JOIN THE HOPE」という言葉に込めています。

B. LEAGUE さまと共に、この「JOIN THE HOPE」を広めていきたいと思っています。現在、日本は少し元気をなくしているのではないのでしょうか。我々自身も希望と夢を持ち、B. LEAGUE さまが掲げられている「バスケットで日本を元気に」「感動立国」という大きな旗のもとで、新しい価値を生み出していきたいと考えています。

《司会》

希望で繋がるコミュニティの輪がますます広がると本当にいいですね。そして、5月にはB. LEAGUE のファイナルも観戦されたということはいかがでしたか。

《南社長》

試合を観戦して、私が感じたことは躍動感と臨場感でした。また、熱気に包まれた空間で、観客が一つになっていく感覚は、1994年にシカゴでNBAを見た際に受けた衝撃と同じでした。時を超えて、日本でも同じような衝撃を感じることができ、私自身が一番ワクワクしました。

《司会》

嬉しいですね。NBAに次ぐ世界第2位のB. LEAGUE を目指している中で、今、南社長のNBAでの90年代の経験を重ねてくださったというのはそれだけファイナルの雰囲気素晴らしかったということですね。ありがたいです。それでは最後に、もう一度に重ねる部分もあるかもしれませんが、南社長からこの

B. LEAGUE タイトルパートナーとしての抱負や決意を改めてお願いできますか。

《南社長》

微力ではありますが、日本のバスケット界、B. LEAGUE さま、そして地域社会に少しでも貢献をしたいという強い想いを持って、今ここに立たせていただいています。りそなグループには多くの会社がありますが、グループが一体となり、3万人のグループ全従業員がB. LEAGUE さまをフルサポートさせていただくことを約束させていただきます。また、皆さま方とともに、B. LEAGUE さまの理念に共鳴をされている多くのスポンサー企業の皆さま、自治体の方々、そして、多くのファンの皆さまと深い絆を築きながら、大きく前進をしていきたいと思えます。引き続き、皆様方のご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

本日は本当にありがとうございました。